



## 2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月13日

上場会社名 株式会社カネカ 上場取引所 東・名  
 コード番号 4118 URL <https://www.kaneka.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 稔  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 IR・広報部長 (氏名) 石田 修 (TEL) 03-5574-8090  
 定時株主総会開催予定日 2021年6月25日 配当支払開始予定日 2021年6月4日  
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月25日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期の連結業績 (2020年4月1日～2021年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	577,426	△4.0	27,544	5.9	22,066	9.4	15,831	13.1
2020年3月期	601,514	△3.1	26,014	△27.8	20,166	△35.5	14,003	△37.0

(注) 包括利益 2021年3月期 33,784百万円 (724.1%) 2020年3月期 4,099百万円 (△78.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	242.68	242.13	4.6	3.3	4.8
2020年3月期	214.70	214.28	4.2	3.1	4.3

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 109百万円 2020年3月期 150百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	667,429	381,040	53.5	5,473.85
2020年3月期	653,262	354,094	50.7	5,082.08

(参考) 自己資本 2021年3月期 357,098百万円 2020年3月期 331,483百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	74,040	△43,229	△21,903	46,360
2020年3月期	39,983	△41,807	△479	37,606

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00	6,522	46.6	2.0
2021年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00	6,523	41.2	1.9
2022年3月期(予想)	—	50.00	—	50.00	100.00		29.7	

## 3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	620,000	7.4	37,000	34.3	32,500	47.3	22,000	39.0	337.25

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	68,000,000株	2020年3月期	68,000,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期	2,762,766株	2020年3月期	2,774,049株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	65,233,827株	2020年3月期	65,224,682株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	279,774	△4.2	1,158	△60.4	4,851	△14.3	7,754	12.0
2020年3月期	292,084	△4.2	2,924	△79.5	5,660	△69.6	6,923	△60.3
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年3月期	118.88		118.64					
2020年3月期	106.15		105.97					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2021年3月期	464,507		250,818		53.9	3,837.86		
2020年3月期	451,798		243,144		53.7	3,721.14		

(参考) 自己資本 2021年3月期 250,371百万円 2020年3月期 242,714百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料6ページ「1. 経営成績等の概況（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当期の財政状態の概況	P. 5
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	P. 5
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 6
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	P. 7
3. 連結財務諸表及び主な注記	P. 8
(1) 連結貸借対照表	P. 8
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	P. 10
(3) 連結株主資本等変動計算書	P. 12
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	P. 14
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	P. 16
(継続企業の前提に関する注記)	P. 16
(セグメント情報等)	P. 16
(1株当たり情報)	P. 21
(重要な後発事象)	P. 21

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

➤ **コロナパンデミッククライシス**

コロナパンデミックの終息の目途が見えない。痛々しい数多くの命が失われています（黙祷）。新型コロナウイルスのパンデミックが宣言されてから一年以上経ちますが世界中が総力戦の戦いを続けています。人類が築いてきた政治・経済・社会のシステムが地球規模で機能マヒを起こし、まるで、ケイレンしているようです。

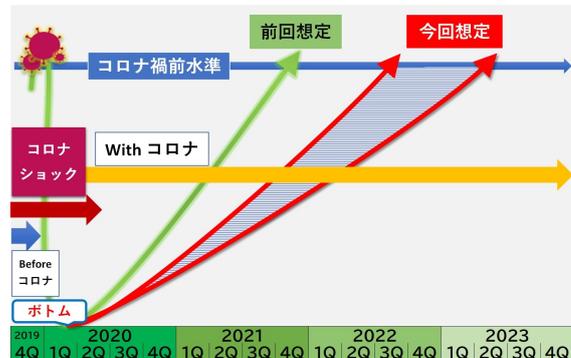
➤ **世界経済と日本の状況**

'20年の世界経済は3.3%マイナス成長であったと推定されます。コロナウイルスの大きな打撃を受けました。

アメリカは'21年にはコロナ禍前の水準を上まわると見込まれていますが、しかし多くの先進国ではコロナ禍前の水準まで回復するのは'22年に入ってからになると思われています。

同じく、新興市場・発展途上国では、中国のGDPが'20年中にすでにコロナ禍前の水準に戻っているのに対して他の多くの国では'23年になっても、しばらくは、コロナ禍水準を回復できないと見込まれています。

'20年マイナス成長4.8%になった日本も景気はコロナ禍前に回復せず、コロナ感染の再拡大によるマイナス影響が懸念されています。



米国における大寒波が世界のサプライチェーンに影響をあたえていることも加え、全体として、しばらくは、不透明で不安定な状態が続くと思われます。

➤ **カネカグループの業績**

このような状況のなか、当社グループの当期の業績は、売上高は577,426百万円（前年比4.0%減）、営業利益は27,544百万円（前年比5.9%増）、経常利益は22,066百万円（前年比9.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は15,831百万円（前年比13.1%増）となりました。

2021年3月期 連結業績 (単位：百万円)

	2021年3月期					対前年		当年度 3Q・4Q VS 1Q・2Q
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	通期	3Q・4Q	
売上高	126,644	140,069	154,769	155,942	577,426	△24,087 (△4.0%)	9,053 (3.0%)	43,997 (16.5%)
営業利益	2,029	5,005	10,253	10,256	27,544	1,530 (5.9%)	7,312 (55.4%)	13,475 (191.6%)
経常利益	823	3,194	8,614	9,434	22,066	1,900 (9.4%)	7,558 (72.0%)	14,031 (349.2%)
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	437	2,039	7,183	6,171	15,831	1,827 (13.1%)	5,397 (67.8%)	10,877 (439.2%)

当社グループの業績をセグメント別、Q別にまとめると下記のとおりとなります。

セグメント別売上高

(単位：百万円)

	2021年3月期					対前年		当年度 3Q・4Q vs. 1Q・2Q
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	通期	3Q・4Q	
Material SU	48,894	55,587	60,240	65,787	230,509	△11,286 (△4.7%)	4,646 (3.8%)	21,545 (20.6%)
Quality of Life SU	29,738	33,924	39,159	38,153	140,976	△13,860 (△9.0%)	1,387 (1.8%)	13,649 (21.4%)
Health Care SU	11,698	12,756	14,068	13,899	52,422	6,070 (13.1%)	3,573 (14.6%)	3,513 (14.4%)
Nutrition SU	35,938	37,560	41,062	37,806	152,368	△5,063 (△3.2%)	△552 (△0.7%)	5,370 (7.3%)
その他	373	241	238	296	1,149	52 (4.8%)	△1 (△0.2%)	△81 (△13.2%)
計	126,644	140,069	154,769	155,942	577,426	△24,087 (△4.0%)	9,053 (3.0%)	43,997 (16.5%)

セグメント別営業利益

(単位：百万円)

	2021年3月期					対前年		当年度 3Q・4Q vs. 1Q・2Q
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	通期	3Q・4Q	
Material SU	2,855	4,518	6,465	9,433	23,272	2,646 (12.8%)	5,475 (52.5%)	8,524 (115.6%)
Quality of Life SU	1,236	2,692	4,439	2,281	10,650	△3,539 (△24.9%)	114 (1.7%)	2,790 (71.0%)
Health Care SU	2,298	2,672	3,213	3,252	11,436	2,519 (28.2%)	1,598 (32.8%)	1,495 (30.1%)
Nutrition SU	827	605	1,882	1,564	4,879	△768 (△13.6%)	160 (4.9%)	2,014 (140.7%)
その他	248	92	98	158	598	50 (9.2%)	△3 (△1.5%)	△84 (△24.8%)
調整額	△5,436	△5,576	△5,844	△6,433	△23,291	620 (-)	△32 (-)	△1,265 (-)
計	2,029	5,005	10,253	10,256	27,544	1,530 (5.9%)	7,312 (55.4%)	13,475 (191.6%)

➤ 全社業績について

全体として、カネカグループの業績回復は外需型でした。

1Q、2Qはコロナショックをまともに受けて大きな減収減益になりましたが、3Q以降は、地球を地産地消でつなぐネットワーク型のグローバルプラットフォームがフルにその多様性の力を発揮することができました。

コロナ禍前を超えるモメンタムを取り戻し3Q・4Qの全社業績は1Q・2Q比で大幅な増収増益。通期も増益を回復しました。

3Q、4Qの営業利益はともに100億円を超える水準。

コロナ禍を乗り越え事業ポートフォリオの変革と収益基盤の強化が進んでいます。

➤ 事業セグメント業績について

3Q・4Qは、すべての事業セグメントが、1Q・2Q比で大幅な増収増益となりました。またそれぞれの前年同期に照らしても前年を上回る増益となりました。

1Q・2Qの厳しい落ち込みをカバーし新しい市場拡大が再び始まっています。

各セグメントの海外需要が力強く復調しています。

アジアを筆頭に、欧・米が続き、海外事業を中心に業績拡大のモメンタムは一段と強まっています。

➤ **コア事業と先端事業について**

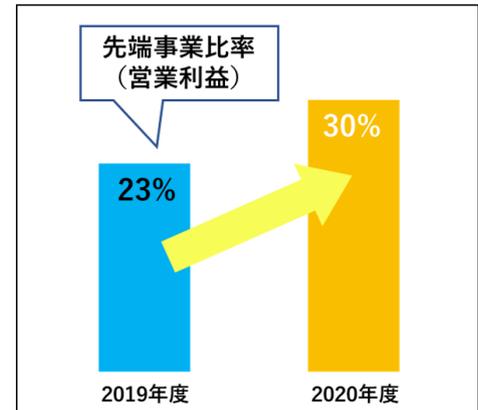
先端事業の成長のドライバーは、グループの経験知（研究ストック）を全社横断的に結集したInnovativeなBreakthrough Technologyの進化です。

特にヘルスケアは、ワクチンや治療薬、検査キットなどコロナ禍に直接貢献するバイオ系製品に加え、細胞の免疫機能を活性化する還元型コエンザイムQ10や乳酸菌、そして衛生用手袋に使われる素材（樹脂原料）など社会の課題に応えるグループのモノづくりが業績を支える原動力になっています。

またE&I、PVは、5Gの社会実装化やカーボンニュートラル向けなど当社のユニークなTechnologyはすでに新しい成長期に入りつつあります。

差別化にこだわり市場ニーズを捉えた競争力ある製品・ソリューションを提供する研究開発型経営が販売を押し上げ収益を伸ばしています。

先端事業の全社売上高・収益構造に占める割合は着実に拡大。事業ポートフォリオの変革が進んでいます。



コア事業のVinyls、MOD、MSやFiberは、海外市場での研究開発がリードする高付加価値品の販売が拡大しています。全体として市場が巡航モードを回復するなかで、スケールある事業特性がグループ全体の収益力向上を支えています。

各セグメントの状況は次のとおりです。

① **Material Solutions Unit**

- Vinylsは、コロナ対応で旬の衛生用手袋（ペースト）を筆頭に、アジアの塩ビ市場全体が急回復している。その旺盛な需要に応えるために内外の工場はフル稼働を続けています。
- MODは、欧米の建材・DIY用途やアジアの非塩ビ用途（自動車、パソコン・家電向け）の需要増を取り込み、塩ビ系・非塩ビを問わずグループ全体の販売は前年を大きく上回りました。
- MSは、欧米で新製品の販売が拡大するとともに、中国・アジアの建築用途や工業用途の開拓が開花期を迎え3Q・4Qは過去最高水準へと販売を伸ばしました。
- 生分解性ポリマー「Green Planet」は、カーボンニュートラルをめざす世界の潮流が鮮明になり引き合いが急増しています。  
世界の大手ブランドホルダーとの共同開発やニーズに応える加工技術開発、一層のコストダウンの取り組みを加速させています。  
量産プラントの決定は最終ステージです。

② **Quality of Life Solutions Unit**

- Foamは、国内の農水産業や住宅着工が低迷するなか、スチレン系発泡樹脂及び押出ボードはシェアを伸ばし販売が拡大しました。発泡ポリオレフィン自動車生産の世界的回復に伴い販売が復調しています。またコロナワクチンを安全に運ぶ低温輸送ソリューション素材「Tack Pack」が政府・地方自治体で採用開始され、また一つ新しい用

途が開きました。

- PVは、ハウスメーカーでの搭載率アップなど住宅向け高効率太陽電池の販売が着実に増加しています。カーボンニュートラルイシューはこの事業にとって絶好のチャンス。ゼロエネルギー住宅（ZEH）、ゼロエネルギービルディング（ZEB）の社会実装化にフィットした「発電する窓（シースルー型太陽電池）」、「発電する壁（壁面設置型太陽電池）」など省エネソリューションの市場拡大を進めています。
- E&Iは、リモートワーク拡大に伴うタブレット・ノートPCやスマホの需要が拡大。好調に推移しピクシオの出荷は過去最高レベルになりました。5Gスマホ向け新製品の開発も順調に進展。ポリイミドワニスも有機ELディスプレイ搭載スマホへのシフトが進み販売が拡大しました。
- Fiberは、アフリカ向けの頭髪が3Qを境に順調に回復し4Qには前年を大きく上回る販売となりました。

### ③ Health Care Solutions Unit

- Medicalは、Pharmaとともに未来に向かってグループが業容を拡大するコアドメインである。今期は、コロナ禍により患者の治療頻度が減少しましたが、全体的に堅調に推移。Web企画など新たなスタイルの販促活動に力を入れ、カテーテルの販売は国内・海外ともに増加。血液浄化器は海外の販売が拡大した。販売が好調な脳動脈瘤塞栓コイル（新製品）が収益を押し上げ、また3月に販売スタートしたASO治療用の新血液浄化器も市場の評価は高く高付加価値ニッチ分野を狙う具体的な武器として期待されます。
- Pharmaは、Medicalとともに業容を拡大するコアドメインである。今期は、コロナ禍が深刻化するなか、アビガン原薬やKEGTのPCR検査試薬及びワクチン中間体の受託製造の受注が急拡大。前年比で大幅な増益となりました。昨年秋に完成したKEGTのバイオ医薬増設ラインは最高のタイミングで決定した投資である。フル戦力化し収益拡大を果たす見通しです。

### ④ Nutrition Solutions Unit

- Supplementは、欧米消費者の「免疫力アップ」意識の高まりを背景に還元型コエンザイムQ10の販売が大きく伸びました。AB-Biotics社の乳酸菌製品は欧州での販売が好調。次の一手である米国の生産販売体制を整備強化し拡販力のギアをシフトアップします。
- Foods & Agrisは、コロナ禍に伴う国内のインバウンド需要減や外食産業の低迷が続いています。サプリメントチームと組んで還元型コエンザイムQ10を配合した「わたしのチカラ Q10ヨーグルト」を発売した。また「パン好きのミルクティー」など本物志向の乳製品の品揃が好評を得ています。DXによる製品の受発注や生産・販売管理などサプライチェーンの抜本的な再編、生産性の向上を最優先で取り組んでいます。DX技術を最大活用し収益性を大きく改善する事業インフラを構築いたします。

## (2) 当期の財政状態の概況

当期末の総資産は、現金及び預金や投資有価証券の増加等により前期末に比べて14,167百万円増の667,429百万円となりました。負債は、借入金の減少等により前期末に比べて12,778百万円減の286,389百万円となりました。また、純資産は、利益剰余金やその他有価証券評価差額金の増加等により前期末に比べて26,945百万円増の381,040百万円となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当期における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益や減価

償却費等により74,040百万円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得等により43,229百万円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払や借入金の返済等により21,903百万円の支出となりました。この結果、当期末における現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ8,754百万円増加し、46,360百万円となりました。

#### (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

##### ➤ 不確実性の継続

4月発表のIMF見通しは、先進諸国における大規模な経済対策やワクチン接種の拡大が功を奏し、'21年の世界経済は6.0%のプラス成長に急回復すると予想しています。しかし、(1) コロナパンデミックがいつどんな風に終息するのか(2) 地球温暖化を原因とする自然災害は予測不可能ではないか(3) 米中対立の再燃をはじめ地政学的リスクは高まってははいないか、などを考えると不透明性は否定しようもない。引き続き情勢を注視していく必要があります。

##### ➤ サステナブルをめざす健康経営(ESG経営)

ところで、技術革新とDXが社会のパラダイムシフトを加速させています。カーボンニュートラルな脱炭素社会をめざす世界的な動きが活発になってきました。当社は、この社会の潮流を構造化し、「地球環境・エネルギーの危機」「食の危機」「健康(豊かに生きる)の危機」の3つをサステナブルの危機と考え、重点事業領域として取り組んでいます。化学は、その名のとおり、化けることがすべてです。世界の変化のPainをGainにする(化ける)チャンスに挑戦します。地球環境を守り、サステナブルな人間性の回復に貢献します。「命を育む社会を支える」健康経営＝“Wellness First”を進めてまいります。

当社は本年3月にTCFDへの賛同を表明しました。今後は、カーボンニュートラルの実現に向けて努力してまいります。

##### ➤ 人間賛歌の経営に取り組んでいます

ちなみに、このコロナ禍のなかで、当社は世界に広がる社員やその家族の健康と安全を守ることを最優先しながら、世界各国・各地域でエッセンシャルビジネスと目される多くの事業群で生産維持に努め、製品の安定供給の責任を果たしてきました。同時に新型コロナウイルスの治療薬・ワクチン関連製品や健康増進に資するサプリメント、衛生用製品素材などの提供を拡大し、着実に事業ポートフォリオの変革を進めています。自らがパラダイムチェンジャーとして変化を先取りし、タイムリーに対応することが不可欠である。変化は当社にとって大きな飛躍のチャンスと捉えています。そして世界がサステナブル社会の実現をめざす動きは、「人間性の回復」を求めているものと考えています。

##### ➤ 2022年3月期の連結業績見通しについて

先端事業は、Health Care領域にて、Pharmaが引き続きコロナ禍の下で社会貢献を果たし、新製品の販売が本格化するMedicalとともに収益が拡大する見通しです。また、5G向けポリイミド新製品の販売が拡大しE&Iの収益拡大が見込まれます。コア事業は、Material系が引き続き旺盛な海外需要の伸長を背景に販売が拡大する見通しです。'21年度は、先端事業・コア事業のどちらも'20年度と同じく海外市場での販売拡大を軸に強いモメンタムを継続すると想定しています。

[2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日) 連結業績見通し]

	当期実績 2021年3月期	業績予想 2022年3月期	増減
売上高(百万円)	577,426	620,000	42,573 (7.4%)
営業利益(百万円)	27,544	37,000	9,455 (34.3%)
経常利益(百万円)	22,066	32,500	10,433 (47.3%)
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	15,831	22,000	6,168 (39.0%)
1株当たり当期純利益(円)	242.68	337.25	94.57

## セグメント別業績予想

(百万円)

	売上高			営業利益		
	当期実績 2021年 3月期	業績予想 2022年 3月期	増減	当期実績 2021年 3月期	業績予想 2022年 3月期	増減
Material SU	230,509	243,000	12,490 (5.4%)	23,272	24,000	727 (3.1%)
Quality of Life SU	140,976	152,000	11,023 (7.8%)	10,650	15,000	4,349 (40.8%)
Health Care SU	52,422	68,000	15,577 (29.7%)	11,436	15,000	3,563 (31.2%)
Nutrition SU	152,368	156,000	3,631 (2.4%)	4,879	6,000	1,120 (23.0%)
その他	1,149	1,000	△149 (△13.0%)	598	500	△98 (△16.4%)
調整額	-	-	-	△23,291	△23,500	△208 (-)
計	577,426	620,000	42,573 (7.4%)	27,544	37,000	9,455 (34.3%)

次期の為替レート及び原料価格については、米ドルは105円、ユーロは125円、国産ナフサ価格は45,000円/KLを想定しております。

※上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、日本基準を適用しております。現時点では国際財務報告基準(IFRS)の適用は未定ですが、将来の適用に備え、情報収集を行うとともに実施に向けた検討を進めております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	38,748	47,716
受取手形及び売掛金	134,110	135,618
有価証券	190	205
商品及び製品	66,057	54,161
仕掛品	8,727	9,198
原材料及び貯蔵品	42,474	46,325
その他	17,852	17,221
貸倒引当金	△1,303	△1,423
流動資産合計	306,858	309,024
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	84,012	91,295
機械装置及び運搬具（純額）	110,073	112,593
土地	31,304	31,744
建設仮勘定	27,038	21,808
その他（純額）	10,627	11,721
有形固定資産合計	263,056	269,164
無形固定資産		
のれん	3,306	2,948
その他	9,874	10,881
無形固定資産合計	13,180	13,829
投資その他の資産		
投資有価証券	48,548	57,917
出資金	346	206
長期貸付金	1,005	761
長期前払費用	2,171	2,143
繰延税金資産	10,035	6,206
その他	8,299	8,406
貸倒引当金	△241	△229
投資その他の資産合計	70,166	75,411
固定資産合計	346,403	358,405
資産合計	653,262	667,429

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	73,509	75,757
短期借入金	88,835	84,181
未払金	28,755	27,253
未払費用	13,382	14,299
未払法人税等	2,408	4,376
未払消費税等	1,030	995
役員賞与引当金	107	111
その他	3,572	5,327
流動負債合計	211,599	212,303
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	33,293	25,161
繰延税金負債	1,576	1,647
退職給付に係る負債	38,308	32,073
役員退職慰労引当金	317	314
その他	4,071	4,889
固定負債合計	87,568	74,085
負債合計	299,167	286,389
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	33,046	33,046
資本剰余金	30,962	31,103
利益剰余金	280,265	289,544
自己株式	△11,583	△11,535
株主資本合計	332,691	342,159
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,246	20,863
繰延ヘッジ損益	△103	△9
為替換算調整勘定	△7,395	△3,753
退職給付に係る調整累計額	△7,956	△2,160
その他の包括利益累計額合計	△1,208	14,939
新株予約権	482	516
非支配株主持分	22,128	23,424
純資産合計	354,094	381,040
負債純資産合計	653,262	667,429

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	601,514	577,426
売上原価	432,374	410,486
売上総利益	169,139	166,940
販売費及び一般管理費	143,124	139,395
営業利益	26,014	27,544
営業外収益		
受取利息	138	97
受取配当金	1,545	1,348
為替差益	—	250
持分法による投資利益	150	109
受取保険金	474	—
固定資産売却益	315	—
退職給付信託設定益	378	—
その他	552	924
営業外収益合計	3,555	2,729
営業外費用		
支払利息	1,714	1,259
固定資産除却損	1,916	2,402
為替差損	968	—
その他	4,804	4,546
営業外費用合計	9,403	8,207
経常利益	20,166	22,066
特別利益		
投資有価証券売却益	627	796
受取損害賠償金	—	1,624
特別利益合計	627	2,420
特別損失		
訴訟関連費用	996	289
減損損失	—	897
災害による損失	—	1,099
特別損失合計	996	2,286
税金等調整前当期純利益	19,797	22,201
法人税、住民税及び事業税	4,809	6,372
法人税等調整額	△490	△1,354
法人税等合計	4,318	5,017
当期純利益	15,479	17,184
非支配株主に帰属する当期純利益	1,475	1,353
親会社株主に帰属する当期純利益	14,003	15,831

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	15,479	17,184
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,437	6,746
繰延ヘッジ損益	7	93
為替換算調整勘定	△3,668	3,924
退職給付に係る調整額	△2,280	5,825
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	10
その他の包括利益合計	△11,379	16,600
包括利益	4,099	33,784
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,976	31,978
非支配株主に係る包括利益	1,123	1,806

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	33,046	32,784	272,944	△11,601	327,173
当期変動額					
剰余金の配当			△6,848		△6,848
連結範囲の変動			167		167
親会社株主に帰属する当期純利益			14,003		14,003
自己株式の取得				△4	△4
自己株式の処分			△1	23	21
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△1,821			△1,821
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△1,821	7,321	18	5,517
当期末残高	33,046	30,962	280,265	△11,583	332,691

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	19,642	△110	△4,008	△5,705	9,818	431	23,302	360,726
当期変動額								
剰余金の配当								△6,848
連結範囲の変動								167
親会社株主に帰属する当期純利益								14,003
自己株式の取得								△4
自己株式の処分								21
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動								△1,821
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△5,395	7	△3,387	△2,250	△11,026	50	△1,173	△12,149
当期変動額合計	△5,395	7	△3,387	△2,250	△11,026	50	△1,173	△6,631
当期末残高	14,246	△103	△7,395	△7,956	△1,208	482	22,128	354,094

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	33,046	30,962	280,265	△11,583	332,691
当期変動額					
剰余金の配当			△6,523		△6,523
連結範囲の変動			△21		△21
親会社株主に帰属する当期純利益			15,831		15,831
自己株式の取得				△3	△3
自己株式の処分			△7	52	44
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		141			141
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	141	9,278	48	9,467
当期末残高	33,046	31,103	289,544	△11,535	342,159

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	14,246	△103	△7,395	△7,956	△1,208	482	22,128	354,094
当期変動額								
剰余金の配当								△6,523
連結範囲の変動								△21
親会社株主に帰属する当期純利益								15,831
自己株式の取得								△3
自己株式の処分								44
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動								141
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	6,616	93	3,641	5,796	16,147	34	1,295	17,477
当期変動額合計	6,616	93	3,641	5,796	16,147	34	1,295	26,945
当期末残高	20,863	△9	△3,753	△2,160	14,939	516	23,424	381,040

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	19,797	22,201
減価償却費	34,340	36,262
減損損失	—	897
退職給付信託設定損益 (△は益)	△378	—
受取損害賠償金	—	△1,624
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	896	2,034
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	67	59
受取利息及び受取配当金	△1,684	△1,445
支払利息	1,714	1,259
持分法による投資損益 (△は益)	△150	△109
固定資産処分損益 (△は益)	53	765
投資有価証券売却損益 (△は益)	△627	△796
売上債権の増減額 (△は増加)	13,197	△246
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△5,572	8,838
仕入債務の増減額 (△は減少)	△11,120	1,392
その他	△4,083	6,221
小計	46,450	75,710
利息及び配当金の受取額	1,787	1,533
利息の支払額	△1,721	△1,325
損害賠償金の受取額	—	1,624
法人税等の支払額	△6,531	△3,502
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>39,983</b>	<b>74,040</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△42,977	△39,431
有形固定資産の売却による収入	725	—
無形固定資産の取得による支出	△3,297	△2,965
投資有価証券の取得による支出	△175	△74
投資有価証券の売却による収入	867	57
投資有価証券の償還による収入	4,000	104
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	37	—
貸付けによる支出	△1,238	△874
貸付金の回収による収入	872	1,145
その他	△620	△1,191
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△41,807</b>	<b>△43,229</b>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	14,121	△3,515
長期借入れによる収入	1,362	776
長期借入金の返済による支出	△4,366	△11,712
社債の発行による収入	10,000	—
社債の償還による支出	△10,000	—
リース債務の返済による支出	△244	△501
自己株式の取得による支出	△4	△3
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△6,848	△6,523
非支配株主からの払込みによる収入	390	—
非支配株主への配当金の支払額	△314	△260
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△4,574	△162
財務活動によるキャッシュ・フロー	△479	△21,903
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>		
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,505	8,708
現金及び現金同等物の期首残高	39,970	37,606
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	141	45
現金及び現金同等物の期末残高	37,606	46,360

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、ソリューション視点の成長戦略を遂行する組織として「Solutions Vehicle」を設置し、10個の「Solutions Vehicle」をソリューション別に4つのドメイン（「Solutions Unit」）に区分しております。各「Solutions Unit」は、取り扱う製品・サービスについて、国内及び海外の子会社と一体となったグローバル・グループ戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、ソリューション別のセグメントから構成されており、「Material Solutions Unit」「Quality of Life Solutions Unit」「Health Care Solutions Unit」及び「Nutrition Solutions Unit」の4つを報告セグメントとしております。

「Material Solutions Unit」は、社会インフラ・モビリティ(軽量化・燃費向上)の発展を支える優れた素材や、環境社会に直接役立つ生分解性ポリマーなどの先端素材をソリューションとして提供し、地球環境保護と快適なくらしに貢献しております。「Quality of Life Solutions Unit」は、住宅や生活インフラなどの省エネ・スマート化ニーズや、IoT・AIの発達など情報化社会の革新に応える優れた素材と独自のサービスをソリューションとして提供し、省エネルギーと豊かなくらしの創造に貢献しております。「Health Care Solutions Unit」は、医療・健康・介護等の分野において、デバイスと医薬の融合による価値あるソリューションを提供するとともに、バイオ医薬や再生・細胞医療など先端医療技術に基づく独自のヘルスケア事業を展開し、高齢化社会・医療高度化社会に貢献しております。「Nutrition Solutions Unit」は、「食」の多様化や健康増進ニーズに応える特色ある素材、サプリメントをソリューションとして幅広く提供するとともに、農業・畜産・水産分野の食料生産支援に寄与するソリューションを提供し、健康と豊かな「食」に貢献しております。

各報告セグメントに属するSolutions Vehicle及び主要製品は、次のとおりであります。

Solutions Unit (報告セグメント)	Solutions Vehicle	主要製品
Material Solutions Unit	Vinyls and Chlor-Alkali	一般用塩化ビニル樹脂、か性ソーダ、 塩ビ系特殊樹脂
	Performance Polymers (MOD)	モディファイヤー、エポキシマスタバッチ、 生分解性ポリマー
	Performance Polymers (MS)	変成シリコーンポリマー
Quality of Life Solutions Unit	Foam & Residential Techs	スチレン系発泡樹脂・成型品、 スチレン系発泡押出ボード、 発泡ポリオレフィン、 ソーラーサーキット工法（外断熱・二重通気工法）
	E & I Technology	ポリイミドフィルム、光学材料、 グラファイトシート
	PV & Energy management	太陽電池、住宅用蓄電池
	Performance Fibers	アクリル系合成繊維
Health Care Solutions Unit	Medical	医療機器
	Pharma & Supplemental Nutrition (Pharma)	低分子医薬品原料、API、バイオ医薬品
Nutrition Solutions Unit	Pharma & Supplemental Nutrition (Supplemental Nutrition)	機能的食品素材
	Foods & Agris	マーガリン、ショートニング、パン酵母、 香辛料、不凍素材、乳製品、機能的肥料・飼料

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と同一であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	Material Solutions Unit	Quality of Life Solutions Unit	Health Care Solutions Unit	Nutrition Solutions Unit	計				
売上高									
外部顧客への売上高	241,795	154,837	46,352	157,431	600,416	1,097	601,514	—	601,514
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,015	24	—	33	1,073	1,088	2,162	△2,162	—
計	242,811	154,861	46,352	157,465	601,490	2,186	603,676	△2,162	601,514
セグメント利益	20,625	14,189	8,917	5,647	49,379	547	49,927	△23,912	26,014
セグメント資産	233,548	181,176	64,979	110,440	590,145	365	590,510	62,751	653,262
その他の項目									
減価償却費	11,559	11,395	2,692	4,547	30,195	19	30,215	3,904	34,120
のれんの償却額	32	—	315	108	456	—	456	88	544
持分法適用会社への 投資額	67	2,249	—	—	2,316	—	2,316	—	2,316
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	13,099	13,518	4,313	6,052	36,983	162	37,146	10,663	47,809

(注) 1 「その他」は、報告セグメントに含まれない損害保険・生命保険の代理業務等であります。

2 セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	Material Solutions Unit	Quality of Life Solutions Unit	Health Care Solutions Unit	Nutrition Solutions Unit	計				
売上高									
外部顧客への売上高	230,509	140,976	52,422	152,368	576,276	1,149	577,426	—	577,426
セグメント間の 内部売上高又は振替高	747	28	—	30	807	1,096	1,903	△1,903	—
計	231,257	141,005	52,422	152,398	577,083	2,246	579,330	△1,903	577,426
セグメント利益	23,272	10,650	11,436	4,879	50,238	598	50,836	△23,291	27,544
セグメント資産	237,673	178,725	72,093	110,120	598,614	806	599,420	68,008	667,429
その他の項目									
減価償却費	12,168	11,950	3,238	4,720	32,078	19	32,097	3,926	36,024
のれんの償却額	33	—	313	111	458	—	458	86	544
持分法適用会社への 投資額	59	2,359	—	—	2,418	—	2,418	—	2,418
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	9,321	12,328	4,406	5,862	31,918	136	32,055	7,089	39,144

(注) 1 「その他」は、報告セグメントに含まれない損害保険・生命保険の代理業務等であります。

2 セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## 4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	49,379	50,238
「その他」の区分の利益	547	598
セグメント間取引消去	△0	7
全社費用(注)	△23,933	△23,451
その他の調整額	21	153
連結財務諸表の営業利益	26,014	27,544

(注) 全社費用は主に特定の報告セグメントに帰属しない基礎的研究開発費であります。

(単位:百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	590,145	598,614
「その他」の区分の資産	365	806
セグメント間取引消去	△16,179	△14,402
全社資産(注)	77,373	82,002
その他の調整額	1,556	408
連結財務諸表の資産合計	653,262	667,429

(注) 全社資産は特定の報告セグメントに帰属しない全社共通の余資運転資金、投資有価証券及び土地等であります。

(単位:百万円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額(注)		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	30,195	32,078	19	19	3,904	3,926	34,120	36,024
のれんの償却額	456	458	—	—	88	86	544	544
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	36,983	31,918	162	136	10,663	7,089	47,809	39,144

(注) 調整額には主に特定の報告セグメントに帰属しない基礎的研究開発関連が含まれます。

(関連情報)

地域ごとの情報

(売上高)

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

日本	アジア	北米	欧州	その他地域	合計
364,960	109,344	47,306	53,426	26,475	601,514

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

日本	アジア	北米	欧州	その他地域	合計
346,261	113,084	42,384	52,880	22,816	577,426

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しております。

## (1株当たり情報)

1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	5,082.08円	5,473.85円
1株当たり当期純利益	214.70円	242.68円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	214.28円	242.13円

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	14,003	15,831
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	14,003	15,831
普通株式の期中平均株式数(千株)	65,224	65,233
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	△3	△5
(うち連結子会社の潜在株式による調整額)(百万円)	(△3)	(△5)
普通株式増加数(千株)	111	128
(うち新株予約権)(千株)	(111)	(128)

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。